

「広島コロナお知らせQR」の利用にあたって、よくある質問と回答をまとめました。

【よくある質問Q&A】①共通編

Q. 「広島コロナお知らせQR」を利用するメリットは何ですか？

A. 施設や事業者にとっては、感染症対策に取り組んでいることのPRになります。

利用者にとっては、感染者と接触した可能性があることを速やかに知ることができるとともに、お知らせを受けた場合に、連絡先を探す等の負担がなく、円滑にPCR検査の申込み、受診ができます。（お知らせメールのドメイン：@service-now.com）

Q. どのような施設や行事、業種が対象になりますか？

A. 不特定多数の方が利用される施設、行事であれば、業種や規模などを問わず対象になります。

Q. 利用するにあたって、料金はかかりますか？

A. 無料でご利用いただけます。（ただし、申請にかかる通信費やPDFの印刷費、QRコード読み込み時のメール送信等にかかる通信費は除きます。）

Q. 国が推進している新型コロナウイルス接触アプリ（COCOA）との違いは何ですか？

A. 国が推進しているアプリは、スマートフォンにアプリ（Bluetooth 利用）をインストールし、感染者と1m以内15分以上接触された方に対して自動的に通知する仕組みです。広島コロナお知らせQRは、アプリではなく、二次元（QR）コードを利用し、不特定多数の方が利用する施設、行事を対象に感染者が判明した場合に、同じ時間帯に同じ施設にいた登録者にメールを送信し、PCR検査を受けていただくようサポートする仕組みです。

Q. 登録した情報がほかのことに使われることはありませんか？

A. 登録いただいた情報は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する目的以外には使用しません。

Q. 同じ施設、同じ時間帯にいた場合に通知されるとのことですが、同じ時間帯とは具体的にどういった時間帯を指しますか？

A. 感染リスクのある方に通知するため、陽性者の方の滞在状況や施設、行事の状況によって異なりますが、目安としては、飲食店であれば陽性者の方が滞在されていた時間の前後2時間程度に登録された方、行事であれば原則当該行事で登録された方全員に通知します。

Q. 感染者がQRコード掲示施設等を利用していた場合、施設管理者や行事主催者へもメールで通知されるのでしょうか？

A. このシステムでは、施設管理者や行事主催者に対し、感染者が利用していた旨の連絡は行っていません。また、プライバシー保護の観点から、QRコードを読み込んだ人の情報

は提供していません。

一方で、陽性者の積極的疫学調査を通じて、不特定多数の方に感染リスクがあると判断した場合には、施設管理者や行事主催者の方にも連絡させていただくことがあります。その際は利用者へメールで通知することとしています。

Q. 施設の従業員はQRコードを読み取らなくてもよいですか？

A. 従業員にも感染リスクはありますので、QRコードを読み取っていただいで結構です。

Q. 陽性者が出た場合、利用者へのお知らせメールに店舗・施設名や日時は記載されるのでしょうか？

A. 利用者へのお知らせメールに店舗・施設名や利用日時は記載されません。一方で、陽性者の積極的疫学調査を通じて、不特定多数の方に感染リスクがあると判断した場合には、施設管理者や行事主催者の方に連絡させていただいた上で、利用者へメールで通知することがあります。